

平成29年度 関東高等学校女子バスケットボール大会
兼 第71回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

(Bブロック) 2回戦

試合日: 2017/06/10
開始時刻: 15:30~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Cコート
試合順: 第5試合(Bブロック) 2回戦

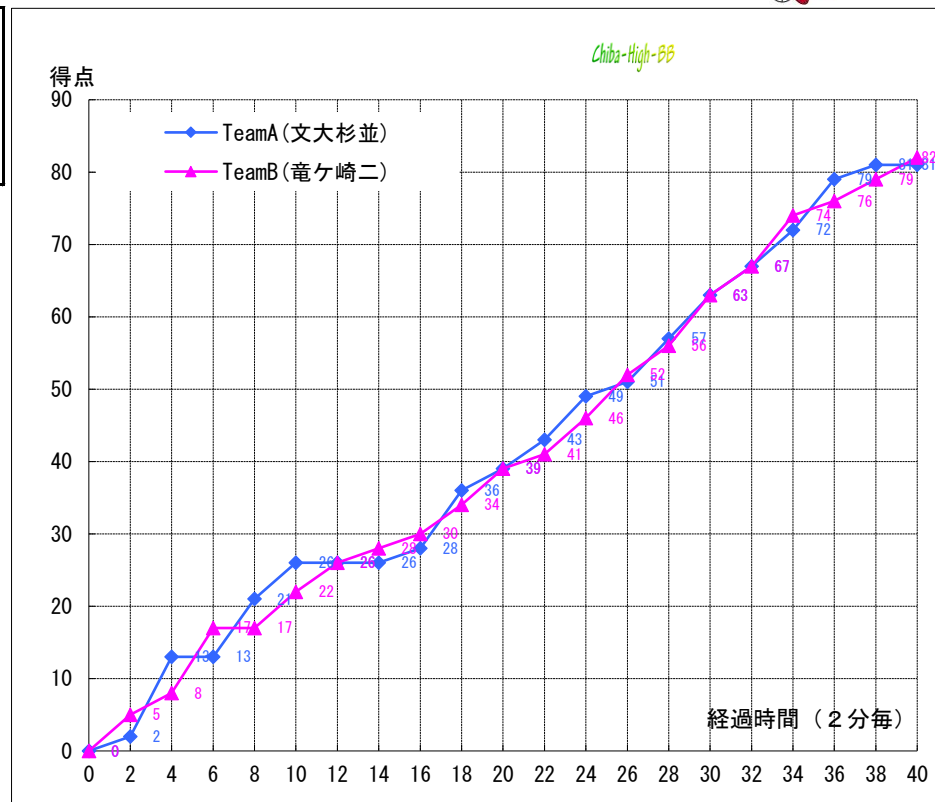
Team A		Team B
文大杉並	81	竜ヶ崎二
(東京7位)		(茨城2位)

TeamA (文大杉並)

No.	PT	選手名	得点	3分以内			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	打田 実来	7	1	2	0	4	0	9	9	4	1	8
5	-	後藤 有紗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	◎	木村 圭那	16	0	7	2	5	1	7	8	4	0	4
7	◎	篠崎 来夢	3	1	0	0	3	0	4	4	1	0	3
8	◎	保科 巴蓮	12	0	5	2	0	1	5	6	1	0	1
9	◎	永末 雪乃	18	0	8	2	2	0	7	7	0	0	4
10	○	池島 穂佳	6	0	3	0	1	3	5	8	0	1	1
11	-	小野 桃佳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	○	竹村 七海	17	3	3	2	3	0	0	0	4	0	4
13	○	市川 夢乃	2	0	1	0	1	1	1	2	0	0	4
14	-	東 加奈子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	-	四津谷 菜々	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-	池田 理紗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	橋本 京佳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	靱山 由奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	1	0	1			3
合計			81	5	29	8	19	7	38	45	14	2	29

TeamB (竜ヶ崎二)

No.	PT	選手名	得点	3分以内			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	倉持 彩弥	11	0	4	3	0	0	1	1	1	0	2
5	○	根本 笙子	20	3	4	3	1	0	1	1	0	0	3
6	○	秋本 花菜	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
7	◎	関根 楓	3	0	1	1	0	1	1	2	0	1	2
8	◎	長谷川 未佳	3	0	1	1	3	5	4	9	0	0	1
9	○	秋本 玲朱	4	0	2	0	0	4	0	4	0	0	0
10	-	伊藤 萌音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	◎	板垣 哉也子	19	0	9	1	0	1	3	4	0	1	2
12	◎	山田 楓	0	0	0	0	3	0	1	1	0	1	0
13	○	小泉 雛	18	5	1	1	0	0	2	2	0	0	0
14	○	市川 水晶	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
15	○	木澤 葉	0	0	0	0	0	2	1	3	0	1	0
16	-	古森 瑞季	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	○	八田 千裕	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
18	○	本間 胡桃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Team / Coach:							0	1	1	2			0
合計			82	8	24	10	10	14	15	29	1	4	11



	前半(1・2クォーター)	後半(3・4クォーター)	延1	延2	延3	延4
TeamA	1:36 14:02	39:12 39:56				
TeamB		19:15 35:27 39:34				

【戦評】

東京都代表の文大杉並と茨城県代表の竜ヶ崎二の対戦。

第1P 文大杉並はハーフコートマンツーマン、竜ヶ崎二はオールコートゾーンディフェンスで試合開始。出だし竜ヶ崎二が俊敏なフットワークでプレッシャーをかけ相手のミス誘う。後半は#5根本のスピードを生かしたドライブインで点数を重ねる。文大杉並は序盤は硬さが見られたが、タイムアウト後から徐々に本来のプレイが開始された。交代した#12竹村が3Pを決めると勢いづき、素早い切り替えからの確かなパスで速攻を出し得点する。最後は#12竹村がブザービートを決め4点リードする。

第2P 竜ヶ崎二はファールがかさんだがアウトナンバーから確実に点数につなげた。6分頃文大杉並がタイムアウトを取った後#9永末がミドルシュートを決めたが、#4打田のアンスポーツマンライクファウルからトラベリングなどのミスが続いてしまった。そして、このピリオドは同点で終わった。

第3P 序盤は、竜ヶ崎二がオフェンスリバウンドを積極的に取り着実に点数をとる。文大杉並は広い視野を持ちオールコートプレスを突破して点数に結びつけた。後半は均衡状態が続きたもや同点で終わる。

第4P 両チーム点を取り合うめまぐるしい展開だった。文大杉並はシュートブロックからの速攻、竜ヶ崎二は#5根本、#13小泉の3Pなどそれぞれの強みを最大限に出していた。残り4.8秒で竜ヶ崎二#5根本がドライブインでレイアップを決め逆転する。選手層が厚くメンバーチェンジを効果的に使った竜ヶ崎二が白熱したシーソーゲームを制した。

審判	星野 由貴 / 山崎 雅洋 /	記入者	篠田萌 青木みのり
----	-----------------	-----	-----------